

特定非営利活動法人ゆめの広場 定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人ゆめの広場という。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を広島県尾道市三軒家町5番22号に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、不登校（発達しょうがいから起きる不登校を含む）及びひきこもり状態にある子どもとその家族に対し、安心して過ごせる居場所の提供、保護者の学びの機会の創出、体験者による講演活動等を通じて、子どもと保護者が自己肯定感を回復し、社会とのつながりを取り戻すことを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) 子どもの健全育成を図る活動

(事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 特定非営利活動に係る事業
 - ① 不登校及びひきこもりの子どもと保護者のための居場所づくり事業
 - ② 保護者を対象とした学習会・交流会の開催事業
 - ③ 居場所活動等への参加を支援する送迎・外出支援事業
 - ④ 幼稚園・保育所・地域団体等における講演及び啓発事業

第3章 会員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会し、活動を推進する個人及び団体
- (2) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、賛助するために入会した個人及び団体

(入会)

第7条 会員の入会については、特に条件を定めない。

- 2 会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとし、理事長は、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。
- 3 理事長は、前項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき。
- (2) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。
- (3) 継続して1年以上会費を滞納したとき。
- (4) 除名されたとき。

(退会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この定款等に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(抛出金品の不返還)

第12条 既納の入会金、会費及びその他の抛出金品は、返還しない。

第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理 事 3人
- (2) 監 事 2人
- 2 理事のうち、1人を理事長、1人を副理事長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

- 2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。
- 3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。
- 4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(職務)

第15条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

- 2 理事長以外の理事は、法人の業務について、この法人を代表しない。
- 3 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 4 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。
- 5 監事は、次に掲げる職務を行う。
 - (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。

- (2) この法人の財産の状況を監査すること。
- (3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
- (4) 前号の報告をするため必要がある場合には、総会を招集すること。
- (5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べ、若しくは理事会の招集を請求すること。

(任期等)

第16条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の規定にかかわらず、任期満了前に、総会において後任の役員が選任された場合には、当該総会が終結するまでを任期とし、また、任期満了後後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を伸長する。
- 3 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。
- 4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(欠員補充)

第17条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第18条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを解任することができる。この場合、その役員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 職務の遂行に堪えない状況にあると認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

第19条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。

- 2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(職員)

第20条 この法人に、事務局長その他の職員を置く。

- 2 職員は、理事長が任免する。

第5章 総会

(種別)

第21条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第22条 総会は、正会員をもって構成する。

(権能)

第23条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 定款の変更

- (2) 解散
- (3) 合併
- (4) 事業計画及び活動予算並びにその変更
- (5) 事業報告及び活動決算
- (6) 役員の選任又は解任、職務及び報酬
- (7) 入会金及び会費の額
- (8) 借入金（その事業年度内の収益をもって償還する短期借入金を除く。第 50 条において同じ。）その他新たな義務の負担及び権利の放棄
- (9) 事務局の組織及び運営
- (10) その他運営に関する重要事項

（開催）

第24条 通常総会は、毎年1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。
- (2) 正会員総数の5分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面又は電磁的方法をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第15条第5項第4号の規定により、監事から招集があったとき。

（招集）

第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法をもって、少なくとも10日前までに通知しなければならない。

（議長）

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

（定足数）

第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

（議決）

第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 理事又は社員が総会の目的である事項について提案した場合において、社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

（表決権等）

第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

- 2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。
- 3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項及び第51条の適用については、総会に出席したものとみなす。

4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わるできない。

(議事録)

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
 - (2) 正会員総数及び出席者数(書面若しくは電磁的方法による表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)
 - (3) 審議事項
 - (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (5) 議事録署名人の選出に関する事項
- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名又は記名押印しなければならない。
- 3 前2項の規定にかかわらず、正会員全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示したことにより、総会の決議があったものとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。
- (1) 総会があったものとみなされた事項の内容
 - (2) 前号の事項の提案をした者の氏名又は名称
 - (3) 総会の決議があったものとみなされた日
 - (4) 議事録の作成に係る職務を行う者の氏名

第6章 理事会

(構成)

第31条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第32条 理事会は、この定款で定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(開催)

第33条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の3分の2以上から会議の目的である事項を記載した書面又は電磁的方法をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第15条第5項第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第34条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第2号及び第3号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法をもって、少なくとも10日前までに通知しなければならない。

(議長)

第35条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(議決)

第36条 理事会における議決事項は、第34条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第37条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法をもって表決することができる。

3 前項の規定により表決した理事は、前条及び次条第1項の適用については、理事会に出席したものとみなす。

4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に関与することができない。

(議事録)

第38条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面又は電磁的方法による表決者にあつては、その旨を付記すること。）
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名又は記名押印しなければならない。

第7章 資産及び会計

(資産の構成)

第39条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収益
- (5) 事業に伴う収益
- (6) その他の収益

(資産の区分)

第40条 この法人の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する資産の1種とする。

(資産の管理)

第41条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(会計の原則)

第42条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行うものとする。

(会計の区分)

第43条 この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業に関する会計の1種とする。

(事業計画及び予算)

第44条 この法人の事業計画及びこれに伴う活動予算は、理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第45条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算で準じ収益費用を講じることができる。

2 前項の収益費用は、新たに成立した予算の収益費用とみなす。

(予備費の設定及び使用)

第46条 予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(予算の追加及び更正)

第47条 予算作成後にやむを得ない事由が生じたときは、総会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

(事業報告及び決算)

第48条 この法人の事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(事業年度)

第49条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(臨時の措置)

第50条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、総会の議決を経なければならない。

第8章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第51条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決を経、かつ、法第25条第3項に規定する事項を変更する場合には、所轄庁の認証を得なければならない。

(解散)

第52条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
- (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
- (3) 正会員の欠亡
- (4) 合併
- (5) 破産手続開始の決定
- (6) 所轄庁による設立の認証の取消し

2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の4分の3以上の承諾を得なければならない。

3 第1項第2号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第53条 この法人が解散（合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第11条第3項に掲げる者のうち、社会福祉法人若菜に譲渡するものとする。

（合併）

第54条 この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

第9章 公告の方法

（公告の方法）

第55条 この法人の公告は、この法人の主たる事務所の掲示場に掲示して行う。なお、法第31条の10第4項及び法第31条の12第4項に規定する公告については、官報に掲載して行う。

第10章 細則

（細則）

第56条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。

附 則

- 1 この定款は、この法人の成立の日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員は、次に掲げる者とする。

理事長	赤坂 均
副理事長	坂田 喜子
理事	高垣 亜紀子
監事	清田 豊
監事	三宅 悠平
- 3 この法人の設立当初の役員の任期は、第16条第1項の規定にかかわらず、成立の日から令和9年3月31日までとする。
- 4 この法人の設立当初の事業計画及び活動予算は、第44条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによるものとする。
- 5 この法人の設立当初の事業年度は、第49条の規定にかかわらず、成立の日から令和9年3月31日までとする。
- 6 この法人の設立当初の入会金及び会費は、第8条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

(1) 正会員(個人)	入会金	5000円	年会費	5000円
(2) 正会員(団体)	入会金	10000円	年会費	10000円
(3) 賛助会員(個人)	入会金	1000円	年会費	500円
(4) 賛助会員(団体)	入会金	1000円	年会費	1000円

役 員 名 簿

特定非営利活動法人ゆめの広場

役職名	(ふりがな) 氏 名	住 所 又 は 居 所	報酬の有無
理事長	あかさか ひとし 赤坂 均		無
副理事長	さかた よしこ 坂田 喜子		無
理事	たかがき あきこ 高垣 亜紀子		無
監事	せいだ ゆたか 清田 豊		無
監事	みやけ ゆうへい 三宅 悠平		無

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

近年、不登校（発達しょうがいから起きる不登校を含む）とひきこもりの子が増加する中、子ども本人だけでなく、その保護者が孤立し、誰にも相談できず悩みを抱え込む状況が多く見られます。

私たちは、これまで任意団体として、不登校及びひきこもりの親子が安心して集える居場所づくりを行い、保護者が学び合い、語り合える場を継続的に提供してきました。ランチ会等の日常的な交流を通じて、保護者が孤立から解放され、子どもが自分のペースで社会と関わるきっかけが生まれてきました。

また、専門家や体験者を講師として招いた学びの場では、不登校を否定的に捉えるのではなく、子どもと家族が自分らしく成長していくための一つの過程として捉える視点を共有してきました。

一方で、移動手段がなく居場所に参加できない親子や、幼児期から不登校（発達しょうがいから起きる不登校を含む）に対する不安を抱える保護者の存在など、新たな地域課題も明らかになっています。

これらの課題に継続的かつ組織的に取り組むため、活動の社会的信頼性を高め、行政・教育機関・地域と連携した支援を行うことを目的として、特定非営利活動法人ゆめの広場を設立するに至りました。

本法人は、居場所づくり、保護者支援、送迎支援、講演・啓発活動を通じて、子どもと保護者が自己肯定感を回復し、社会とのつながりを取り戻すことを目指します。

2 申請に至るまでの経過

令和5年6月16日 尾道ボランティア連絡協議会に不登校とひきこもりの居場所づくりに（はてな）会を設立する。

令和5年7月頃～ 居場所創りとして「歌を歌って楽しむ会」、「モルックを楽しむ会」、「釣りを楽しむ会」を開設（参加者と支援者が互いに楽しめの会を開催）

令和6年3月頃～ 講師を呼んで「ランチを楽しむ会」を開設（参加者と講師の情報交換の場を月一回開催）

令和8年7月26日 特定非営利活動法人ゆめの広場設立総会を開催

令和8年7月26日

特定非営利活動法人ゆめの広場

設 立 代 表 者

赤坂 均

R8年 度 事 業 計 画 書

特定非営利活動法人ゆめの広場

1 事業実施の方針

設立初年度は、法人としての事業基盤を整備することを目的に、行政機関や民間団体との連携を図るとともに、広報活動にも力を入れ、活動の認知向上と利用者のニーズ把握及び拡大を目指す。また、内部体制の整備も進める。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施 予 定 日 時	実施 予 定 場 所	従事者 の 予 定 人 数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
①	居場所づくり 釣り具・えさ代	毎月1回 冬場休み	大三島 弓削	1名	利用者1名	24千円
②	保護者の学習会・交流会 従事者活動支援 従事者交通費 講師料	毎月第二 火曜日 12時	尾道市 福地町	2名 2名 2名	利用者10名／ 月 8カ月 利用者 80名 支援者2名／ 月 8カ月 支援者2名／ 月 8カ月 支援者8名	80千円 24千円 16千円 80千円
③	送迎・外出支援 因島～釣り場	毎月1回 冬場休み	因島 大三島 弓削	1名	利用者1名 1回／月 6回	18千円
④	講演会 従事者交通費	年3回	たんぼぼ 幼稚園 清心幼稚園	2名	支援者2名 3回 受講者 各100名 受講者 計300名	6千円

- ① 不登校及びひきこもりの子どもと保護者のための居場所づくり事業
- ② 保護者を対象とした学習会・交流会の開催事業
- ③ 居場所活動等への参加を支援する送迎・外出支援事業
- ④ 幼稚園・保育所・地域団体等における講演及び啓発事業

R9年 度 事 業 計 画 書

特定非営利活動法人ゆめの広場

1 事業実施の方針

翌年度は、初年度の活動を通じて明らかになった課題を改善しながら、引き続き他機関との連携や広報活動を継続し、知名度の向上を図る。また、活動内容と送迎体制のさらなる充実を目指し、初年度の実績をもとに寄付の募集や助成金申請にも取り組んでいく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施 予 定 日 時	実 施 予 定 場 所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
①	居場所づくり 釣り具・えさ代	毎月1回 冬場休み	大三島 弓削	1名	利用者1名	40千円
②	保護者の学習会・交流会	毎月第二 火曜日 12時	尾道市 福地町	2名	利用者10名／ 月 12カ月	120千円
	従事者活動支援			2名	利用者120名 支援者2名／ 月	36千円
	従事者交通費			2名	12カ月 支援者2名／ 月	24千円
	講師料				12カ月 支援者12名	120千円
③	送迎・外出支援 因島～釣り場	毎月1回 冬場休み	因島 大三島 弓削	1名	利用者1名 1回／月 10回	30千円
④	講演会 従事者交通費	年4回	たんばぼ 幼稚園 清心幼稚園	2名	支援者2名 4回 受講者 各100名 受講者 計400名	8千円

- ① 不登校及びひきこもりの子どもと保護者のための居場所づくり事業
- ② 保護者を対象とした学習会・交流会の開催事業
- ③ 居場所活動等への参加を支援する送迎・外出支援事業
- ④ 幼稚園・保育所・地域団体等における講演及び啓発事業

設立当初の事業年度 活動予算書
法人成立の日から 令和9年3月31日まで

特定非営利活動法人ゆめの広場
(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取年会費	55000		
正会員受取入会金	55000		
賛助会員受取会費	0	110000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	0		
施設等受入評価益	0	0	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	200000	200000	
4. 事業収益			
講演会事業収益	60000		
居場所交流会事業収益	120000	180000	
5. その他収益			
受取利息	0		
雑収入	0	0	
経常収益計			490000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
活動費	24000		
送迎ボランティア	0		
人件費計	24000		
(2) その他経費			
会議費			
旅費交通費	40000		
消耗品費	0		
居場所交流会講師料	80000		
居場所交流会食事代	80000		
釣り道具・えさ代	24000		
その他経費計	224000		
事業費計		248000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
活動費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
会議費	5000		
旅費交通費	11000		
保険料	3850		
その他経費計	19850		
管理費計		19850	
経常費用計			267850
当期経常増減額			222150
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			
経常外費用計		0	
当期正味財産増減額			222150
設立時正味財産額			0
次期繰越正味財産額			222150

令和9年度 活動予算書
R9年4月1日からR10年3月31日まで

特定非営利活動法人ゆめの広場
(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	10000		
正会員受取入会金	10000		
賛助会員受取入会金	0	20000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	0		
施設等受入評価益	0	0	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	200000	200000	
4. 事業収益			
講演会事業収益	80000		
居場所交流会事業収益	180000	260000	
5. その他収益			
受取利息	0		
雑収入	0	0	
経常収益計			480000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
活動費	36000		
送迎ボランティア	0		
人件費計	36000		
(2) その他経費			
会議費	0		
旅費交通費	62000		
居場所交流会講師料	120000		
居場所交流会食事代	120000		
釣り道具・えさ代	40000		
その他経費計	342000		
事業費計		378000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
活動費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
会議費	10000		
旅費交通費	13000		
保険料	4550		
その他経費計	27550		
管理費計		27550	
経常費用計			405550
当期経常増減額			74450
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			
経常外費用計		0	
当期正味財産増減額			74450
前期繰越正味財産額			222150
次期繰越正味財産額			296600